

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： 獣ナイン PK-130 デサピア（拡散器専用カートリッジ）
会社名： 株式会社 ピオニーコーポレーション
住所： 〒596-0078 大阪府岸和田市南上町1丁目19-21
担当部署： 特器事業部
電話番号： 072-431-7241
緊急連絡先： 072-432-2016
FAX番号： 072-431-7241
作成、改訂： 2023/4/1
整理番号： PKD010

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性： 爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）
酸化物ガス	区分に該当しない（分類対象外）
高圧ガス	区分に該当しない（分類対象外）
引火性液体	区分に該当しない（分類対象外）
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない（分類対象外）
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない
健康有害性： 急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1A
生殖細胞変異性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）、区分3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（中枢神経系）、区分1（肝臓）
誤えん有害性	分類できない
環境有害性： 水生環境有害性（急性）	区分2
水生環境有害性（慢性）	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 危険
危険有害性情報： H317 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ
H320 眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 長期継続的影響によって水生生物に毒性
H350 発がんのおそれ

- H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- H372 長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害
- H373 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ
- H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：

- 【安全対策】**
- P201 使用前に取扱い説明書入手すること。
 - P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
 - P264 取扱い後は、手をよく洗うこと。
 - P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 - P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
 - P272 汚染された作業衣は作業場からださないこと。
 - P273 環境への放出を避けること。
 - P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡をすること。
- P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P391 漏出物を回収すること。

- 【保管】**
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 - P405 施錠して保管すること。

- 【廃棄】**
- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ゲル化用植物抽出液	未登録	89~91	なし
変性ポリアルキレンオキサイド	登録済	9~11	あり

注記；これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分： 労働安全衛生法「名称等を表示すべき危険有害物」 エタノール（原料中に含有）
労働安全衛生法「名称等を通知すべき危険有害物」 エタノール（原料中に含有）

4. 応急処置

- 吸収した場合： 患者を直ちに新鮮な空気の所に移す。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせずに速やかに口をすすぎ、医師の診断、手当を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法： 水、粉末、泡（対アルコール泡）、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤： 棒状注水
- 特有の危険有害性： 燃焼、熱分解時には、一酸化炭素（CO）、二酸化炭素、アルデヒド類およびその他の炭化水素ガス（含酸素化合物を含む）が発し絵する可能性がある。
- 消火を行う者の保護： 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の一般的な消火方法による

消火を行う。
粉じんが飛散した場合は燃える可能性があるため、消火活動は、可能な限り風上から
行い有毒なガスの吸入を避ける。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項：

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
飛散した物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

封じ込めおよび浄化の方法、機材：

漏出した物を掬い取り、または掃き集めるなど、粉じんが発生しない方法で空容器に回収する。
危険でなければ漏れを止める。
排水口、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

【技術的対策】 作業上の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

【局所排気・全体換気】 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気もしくは全体排気を行う。

【注意事項】 内容物は、出来るだけ素手では触らないこと。

非常に刺激が強い成分です。鼻を近づけるなどをして直接臭いを嗅がないで下さい。
落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のものを置かないこと。

【安全取扱注意事項】 「10. 安定性及び反応性」を参照

保管：

【適切な保管条件】 適切な換気のある冷暗所に密閉して保管する。

吸湿や過度の圧縮を受けないよう保管する。

未開封の状態でも横倒とならないように保管をしないで下さい。

【安全な容器包装材料】 密閉式の破損しない容器に保管する。

アルミの中蓋を付けた状態で蓋をしっかり閉めて下さい。

8. ばく露防止及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準：

成分名	管理濃度	許容濃度/TLV	
		日本産業衛生学会	ACGIH
ゲル化用植物抽出液	未設定	未設定	未設定
変性ポリアルキレンオキシド	未設定	未設定	未設定

設備対策： 使用中は、十分な換気を行うこと。

保護具： 適切な保護眼鏡、保護手袋、保護マスクを着用すること。

必要な場合は、防毒マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

個包装の内容物について示す。

物理的状態： 固体

色： 透明状態の橙色

臭い： 刺激臭

融点/凝固点： データなし

沸点、初留点および沸騰範囲： データなし

燃焼性： データなし

燃焼または爆発範囲の上限下限： データなし

引火点： データなし

自然発火温度： データなし

分解温度： データなし

PH： データなし

動粘性率： データなし

溶解度： データなし

n-オクタノール/水分係数： データなし

蒸気圧： データなし

密度（比重）： データなし

蒸気密度： データなし

10. 安定性及び反応性

内容物； 安定性： 通常の取扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。
危険有害反応可能性： データなし
避けるべき条件： 強酸化剤との接触を避けるべき原料を含む。

混触危険物質： 強酸化剤。
危険有害な分解生成物： データなし

11. 有害性情報

個包装の内容物について示す。

急性毒性（経口）： 混合物の分類判定方法により、既知の成分がすべて同一の分類区分のため、区分に該当しないに該当。

急性毒性（経皮）： データ不足のため分類できない。

急性毒性（吸入：蒸気）： GHS定義による気体ではない。

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）： データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性： 混合物の分類判定方法により、毒性未知成分が0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： 加成方式が適用できる成分からの判定：区分2Bの成分合計が100%であり、濃度限界(10%)以上のため区分2Bに該当。

呼吸器感受性： データ不足のため分類できない。

皮膚感受性： 混合物の分類判定方法により、区分1に該当。

生殖細胞変異原性： データ不足のため分類できない。

発がん性： 混合物の分類判定方法により、CAS番号：なしが90% \geq 0.1%のため、区分1Aに該当。

生殖毒性： 混合物の分類判定方法により、CAS番号：なしが90% \geq 0.1%のため、区分1Aに該当。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2(中枢神経系)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分1(肝臓)に該当する。

誤えん有害性： 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

個包装の内容物について示す。

水生環境有害性（急性）： 混合物の分類判定方法により、区分2に該当。

水生環境有害性（慢性）： 混合物の分類判定方法により、区分2に該当。

オゾン層への有害性： データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 特に、内容物のみ環境への放出を避けること。

少量の場合： 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

多量の場合： 気密性が高い容器に密閉し、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

14. 輸送上の注意

共通： 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
個包装に損傷を与えないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

国際規制： 原料に以下の物質を含む。
国連番号：1545
正式輸送名：イソチオシアン酸アリル（アリルマスタードオイル）
分類または区分：6.1
容器等級：II

航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMOの規定に従う。

海洋汚染物質： 非該当

国内規制： 原料に以下の物質を含む。
国連番号：1545
正式輸送名：イソチオシアン酸アリル（アリルマスタードオイル）
分類または区分：6.1

容器等級：Ⅱ

陸上規制情報：消防法の規定に従う。

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

輸送に際しては、直射日光を容器の漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 主な適用法令

個包装の内容物（原料として）について示す。

労働安全衛生法：【エタノール】（原料中に含有）
名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物（別表第9の10）

消防法：【変性ポリアルキレンオキサイド】
非危険物 指定可燃物（合成樹脂類 3,000kg以上）

毒物及び劇物取締法：非該当
化学物質排出把握管理促進法
（PRTR法）：非該当

16. その他

主な引用文献	GHS 混合物分類判定システム NITE 化学物質総合情報提供システム 原料SDS	経済産業省
--------	---	-------

[注意]

本製品は、容器にゲル状の物質が充填された製品であり、通常この形状で提供・使用及び廃棄されるものである。取扱い及び保管上の注意などは、この製品状態を想定して記載を行った。記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。